

日時：2021年12月9日（木）10:30～17:15

会場：幕張メッセ コーティングジャパン東京内

開始時間	終了時間	講演者	講演タイトル	要旨
10:30	11:15	一社）国際工業塗装高度化推進会議 副理事長 高橋 大	国際工業塗装高度化推進会議 （IPCO）の活動について現在・ 過去・未来	国際工業塗装高度化推進会議（IPCO）はその前身である団体の発足からすでに14年が経過している。「VOC削減」、「サポイン」などこれまでに取り組んできた事例と今後の活動方針について説明する。
11:30	12:15	日本塗装機械工業会 専務理事 平野 克己	「ゼロカーボンに対する塗料・塗装 の取組み」	2050年ゼロカーボン宣言に対して具体的に取り組む方策が急務である。産業界排出量の3%を占める塗料・塗装業界の責任も大きい。ここでは、LCAでの実際のCO2の数値を算出し、具体的な削減方法とそのロードマップを示す。
12:30	13:15	日本パウダーコーティング協同組合 専務理事 福田 良介	粉体塗料市場の最新動向	工業塗装でVOCを減らすなら、粉体塗装が最も有効である。「環境にやさしい」粉体塗料と言われて久しいが、その発展は緩やかなものである。しかし少しずつ変化の兆しが見えてきている。そんな粉体塗料の日本市場の変化を解説する。
13:30	14:15	東京都立産業技術研究センター 副主任研究員 木下 稔夫	これからの塗装産業と東京都立産業 技術研究センターの役割	（地独）東京都立産業技術研究センターは、全国でも数少ない塗装技術の担当分野を有する地方公設試験研究機関の一つです。本講演では、塗装産業に対する近年とこれらに向けた当センターの取組み、役割について。
14:30	15:15	株式会社コニファ 代表取締役 堀 千佳子	VOC量を常時測定するIoTシステムの 開発について	塗装現場のVOC量を常時測定し、「いつも」と違う状態を検知することで現場での健康被害リスクを抑える、リーズナブルなIoTシステムの構築を進めており、その仕組みや考え方の紹介と実証実験に関するデモを交えた報告
15:30	16:15	有限会社田辺塗工所 代表取締役 田辺 直	工業塗装現場に於ける設備と塗装作 業の最適化とは「このままで良いで すか？」	塗装現場を訪問すると設備選択と作業実技のミスマッチが散見されます。高効率化を考えると最適化されていない事が原因として考えられ「何故」と原因の追求し、対応策の提言と必要技術確立についての提言。
16:30	17:15	株式会社テイト微研 代表取締役 首藤 隆利	「微生物によるVOC分解への 研究と展望」	次の研究事項の報告 ・新たな遺伝子組み換え微生物によるVOC分解の研究 ・微生物の特徴から実際の現場での効果が可能か法的問題、製造等の課題 ・現在使用している自然界の微生物である放線菌によるPCB分解菌を使用してVOC分解の取組み ・新たな研究としては排気されるVOCの分解を目指した研究課題